

●本日の学習目標

1. 病床での衣生活の基礎知識を理解することができる。
2. 衣服着脱の行動を理解することができる。
3. 寝衣交換の手順を理解することができる。
4. 寝衣交換の援助を受ける、患者の心情を考えることができる。
5. 援助を受ける対象の状況を考え、適切な言葉かけをすることができる。

1. 病床での衣生活の基礎知識を理解することができる。

基礎看護技術Ⅱ P.221～

1. 援助の基礎知識

1) 衣服を用いることの意義

事前学習を確認しよう

- 生理的意義
- 社会的意義
- 心理的意義

2) 体温調節と衣服

熱産生と衣服 身体の熱は何から産生されるの？

熱放散と衣服 テキスト 223 図6-28

被服気候

3) 衣生活に関する患者のニーズ

着脱時の援助へのニーズ

生活習慣や価値観に基づくニーズ

2. 援助の実際



1) 病衣の選び方

事前学習を確認しよう

セパレートタイプ



和式寝衣



「Y」の形



左が上

横結び



履物



2) 寝衣交換

● 交換の基準

図1 寝衣が汚れる原因となるもの



●寝衣交換の実際

(1) 準備

- ①患者に準備・方法の説明。排泄の確認。
- ②患者の状態、習慣、好みを配慮して適切な病衣を準備。 必要時、毛布やタオルケットの準備。
- ③環境を整える。(室温(24)±2℃、プライバシーの確保、作業スペースの確保、物品を効果的に配置)

(2) 手順

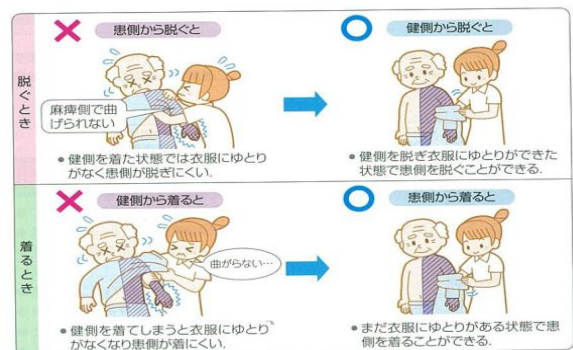
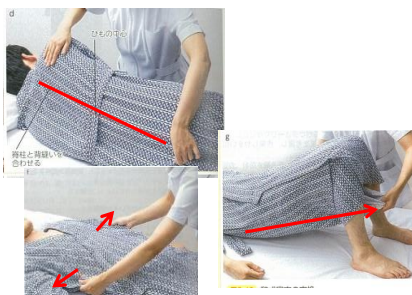
- ①障害のある部位を保護する。
- ②着替え用の寝衣を清潔に保つため、着用していた寝衣を接触させないようにする。
- ③病衣を正しくゆったりと整える。

(3) 留意点

- ①患者の疲労を最小限にする(体動を少なく)
- ②不必要な露出を避け、保温に留意する
- ③患者の可能な部分は、積極的に協力をしてもらう
- ④実施中は以下の事を観察する (患者の表情、皮膚の状態、着脱行動の自立度、関節可動域など)

【寝衣交換のポイント】

健側から脱がせ、患側から着せる だっけんちきつかん 脱健着患



健側：動きがよい、動かすことができる側

患側：何らかの原因で動きが悪くなっている側(麻痺、拘縮・強直、動きに伴う疼痛、治療のため患部の安静が必要、点滴が留置されている)

枚数が多い場合

重ねて着せる

患者の疲労を最小限にできるように寝衣と肌着を重ね袖や襟ぐりを合わせておくとよい



【迎え袖のやり方】



① 袖をたぐる



② 看護師が袖口から
手を入れる



③ 患者さんの手を支えて袖を通す

輸液ラインが入っている場合



なぜなら
血液が逆流
してしまう
ため

ボトルは刺入部より高い位置に保つ